



八丈島ぐらし通信 14

2022年10月発行



今月の話題

若い移住者のキモチ

八丈島ってどんな島？

新人好みの情島

10月の歳時記

大神宮祭

タオル一本持って来て下さいハッピーなどはお貸しますーそうポスターに書いてあった。祭りの朝になるとソワソワするのは昔から変わらない。護神まで行ってみるとすでに神輿は出発した後だった。詰所の人が教えてくれたとおり郵便局へ向かうと、そこに神輿と軽トラと担ぎ手...「いいですか?」「いいよ!」それで担ぐことが決まった。神湊へ着くまでにどんどん担ぎ手が加わる。ギョサンの人も短パン・Tシャツの人も誰でも温かく迎える。起伏のある道は手強いけれど、潮風に吹かれ、休憩でクサヤをかみながら一日担ぐと、陽が沈む頃にはたくさんの仲間ができていた。毎年、なじみの顔と再会し、騒ぎ、笑う。そうしてこの島に自分の根っこが張った。(大賀郷中学校校長 石井謙次)



今月の島ごはん

大竜ファーム男メシ食堂のうみかぜ椎茸肉詰めフライ



- ① 玉ねぎと椎茸の石づきのみじん切りをサラダ油とバターで炒めて冷ます。
- ② 牛乳・赤ワイン・パン粉・卵を合わせておき、合挽肉と冷ました①を入れ塩胡椒で下味をつける。
- ③ 手でもんで粘りが出るまで混ぜ合わせる。
- ④ 軸を外した椎茸の傘に端まで挽肉をしっかり詰める。
- ⑤ 小麦粉→溶き卵→パン粉をつけて170℃の油で6～7分揚げる。



若い移住者のキモチ



移住者の年齢別統計がないので詳細はわかりませんが、リゾートバイト以外の20代の移住者は少ないように感じます。

八丈島を活気あふれる島にするために、若い人たちにどんどん八丈島に移住してほしい!そのために若い移住者のキモチが知りたい!

移住の理由や目的は様々ですが、若い移住者たちがどんな気持ちで暮らしているのか知ることは、これからの八丈島を考える上で重要なカギになる気がします。



おくやま建設不動産部勤務
池田 ことみさん(21歳)
長崎県から7ヶ月前に移住



八丈町営バス運転手
秦 秀樹さん(25歳)
練馬区から1年半前に移住

自立するため故郷から遠い地へ

インディード(インターネットの求人サイト)でおくやま建設が宅建士を募集していることを知ったのが移住のきっかけです。父が土地家屋調査士で、わたしも不動産の仕事がしたいと思い、登竜門である宅建士の資格を取って募集を探していました。両親が過保護で、家事手伝いをしながら好きなことをすれば良いというような家庭だったので、実家からなるべく離れて自立したいと思っていました。

離島でのんびり勉強したい

母が大分の離島の出身で、のんびりした島ぐらしも良いと思っていました。八丈島に住んでみて不便はまったく感じていません。規則正しい生活をしてるので夜にコンビニに行く必要もないし、島で高い物はネットで買います。お店が少ないので無駄遣いする必要がなくお金も貯まります。自分の夢のために取りたい資格がたくさんあるので静かな環境で勉強に集中しています。

賃貸物件を増やすための資格

八丈島では賃貸物件が足りていません。おくやま建設では賃貸物件をあまり扱っていませんが、移住者を増やすことを考えても八丈島にとっては賃貸物件が大切です。それで空き物件を探して管理するために、いまは賃貸不動産経営管理士の勉強をしていて11月に資格試験を受けます。八丈島には空き家がたくさんあるのに貸したくない人が多い。若い人の提案は受け入れられないと聞きますが、めげずにこの問題を解決していきたいです。若い人の貢献したい気持ちを反映してくれる島であってほしいと願っています。

スキルアップすることで貢献したい

今年の6月にFP(ファイナンシャルプランナー)3級の資格を取りました。来年1月にFP2級、10月は土地家屋調査士を受験する予定です。目指しているのは、お金の相談から家を建てて引き渡しまで一貫してできるようになること。お客様に寄り添い、家事をする女性目線の家造りをしたいです。だから2級建築士も目指します。

八丈島を無人島にしたくない

母親が八丈島の出身で祖父母がいるので夏休みに遊びに来ていました。自然の中で自給自足的な暮らしをしてみたい気持ちがあり、八丈島の人口が激減してるのも知っていたので、いつか八丈島に移住すると決めていました。僕が子供の頃には9000人以上いた八丈町の人口が20年の間に2000人も減ってるのは危機的です。祖父がバスの運転手をしていたので憧れがあり、町営バスの運転手の募集があることを知り移住しました。職場は良い人ばかりで楽しく仕事しています。

それほど不便はない

八丈島はコンビニがないしお店は早く閉まるので不便だと聞いてましたが、暮らしてみてもそれほど不便に感じることはないです。新しいお店も増えてますしね。しいて言えば、コンビニがないと支払いが不便とかありますが、一番困るのは湿度が高いので除湿機やエアコンなどの稼働時間が長くて電気代がかかることです。

時間が使い放題

八丈島の良い点は、通勤や移動に時間がかからないので、時間が使い放題なことです。東京では通勤に時間がかかり、家と職場の往復の毎日でした。こちらでは休みの日はカフェ巡りをしたり、職場の野球チームで野球をしたり、最近竹藪だった土地を借りて開墾して畑を作ったり、釣りも本格的に始めたいと思ってます。魚をさばけるようになれば憧れの自給自足生活に一步近づきます。

足りないのは同年代の友達

八丈島のツイッターの交流会があり、知り合いがたくさんできました。ただ同年代が少ないので、知り合うきっかけになるイベントなどがあれば嬉しいです。八丈島に移住した若い人たちが島を離れることがあるとすれば、同年代がなくて友達ができづらいことが大きいと思います。八丈島での暮らしは充実していてずっと住みたいと思ってるので、これが解決できれば完璧ですね。

八丈島で
起業した
移住者たち八丈島ってどんな島!?
新人好みの情島

1973年に八丈町教育委員会から出版された「八丈島誌」には、八丈島では流人を罪人扱いせず、異邦人歓待や新人好み(あらびとごのみ)の習慣があり、物惜しみしない寛容な島民気質があったと書かれています。1606年に宇喜多秀家公が初の流人として八丈島へ配流されてから400年以上経た現在も八丈島民には変わらずこの気質があるように感じます。八丈島へ移住した若い人たちをぜひ応援してあげてください。島民の応援により、移住者が定住できる島を目指しましょう。



八丈島ライフサポーター

堀江 健太郎

高齢者の福祉をメインに一般の方も利用できる便利屋サービスです。福祉車両での車椅子の移動も可能です。釣りをきっかけに移住して、島の自然と人が好きになり、島にない事業を立ち上げました。困ったことがありましたら何でもご相談ください。少しでもお役に立てるようがんばります。

[住所] 三根4431-10 [電話] 090-6303-3578 [営業時間] 年中無休

[URL] <https://twitter.com/kentaros2403>

[料金] はじめの1時間…3000円 以降の時間…20分毎に500円



ほぐしのたにやん

谷口 涼太

出張リラクゼーションサロンをオープンしました！オイルともみほぐしで日々の疲れをとり、心と体の癒しをご体感いただけます。ご自宅に呼ぶことに抵抗のあるお客様には、レンタルスペースのご提供もご用意しています。お気軽にお問い合わせください。

[住所] 大賀郷5442-23 [電話] 090-9662-0847

[予約受付時間] 14:00～22:00 (施術最終23:00スタート)

[URL] https://twitter.com/Hogushi_taniyan

[料金] ショートコース30分…島民価格3300円(税込) / スタンダードコース60分…島民価格5500円(税込) / 延長10分…1100円



八丈島乾物製作所

長江

八丈島の鮮魚を使った犬猫用おやつ製造販売。使用している魚は人間がお刺身で食べられる品質のものだけです。漁協から魚を直接買付け、すぐに捌いて乾燥させています。無添加。冷凍魚不使用。「おやつ」「ふりかけ」をご用意しています。島内ではBulBlueさんでお取り扱い中。

[住所] 大賀郷7476-2

[営業時間] オンラインショップで24時間販売中

[URL] <https://hachijo-kanbutsu.com/>

移住協の事業として、昨年度から「八丈高校の島留学支援」を継続的に行っています。昨年度は多数の応募に対して1軒のホストファミリーが2名の男子生徒を受け入れました。また、ご家族で八丈島へ移住して入学した生徒が5名いました。島留学をアピールすることにより、八丈島移住を促進する結果に繋がっています。

ホストファミリーの島留学生受け入れは、八丈町と東京都教育委員会の支援事業でもあり、毎年途切れることなく継続していくことが大切です。今年度の受け入れ先を探していましたが、6月の締切が近くなっても条件に合うホストが見つかりませんでした。

我が家は民泊を経営しており、過去に保育園経営や学童の経験もあります。いずれはホストファミリーもと考えていましたが、そのような事情ですので、今年度のホストファミリーに応募することにしました。学童では高校生ボランティアと過ごす機会もあり、子育てもしましたので、高校生を受け入れることに抵抗はありません。5月に町役場へご相談に伺いました。我が家の施設を見ていただき、家族のお話をし、その後、内定をいただきました。今年度のホストファミリーは我が家だけですので、受け入れは1名だけとなりました。



副代表理事 高橋 晃雄

今年度のホストファミリー島留学受付

島外から八丈高校受験をお考えの皆様へ

八丈町では、八丈町以外の都内の生徒を八丈町に在住するホームステイ宅で受け入れ、東京都立八丈高等学校への進学を支援する取組を行っています。今年度は、八丈町に在住するホームステイ宅に受け入れる生徒を1名募集しています。

募集人数	1名
事前問合せ	10月15日(土)～11月7日(月)
募集期間	11月7日(月)～11月30日(水)
選考日	12月17日(土)～12月18日(日)
選考結果通知	12月下旬
当該選考の合格者	令和5年2月21日(火曜日)に実施する都立八丈高等学校入試への応募資格を取得

※応募される方は必ず事前問い合わせが必要です。
 ※募集期間は書類送付期間です。
 ※選考日には面接があります。

問い合わせ先

八丈町教育委員会 島外生徒受入選考担当 宛
 〒100-1498 東京都八丈町大賀郷2551番地2
 電話：04996-2-7071
 メール：koyoiku@town.hachijo.tokyo.jp

詳細は八丈町ホームページをご覧ください。
<https://hachijo.info/info/?p=13102>

移住のチューワ

by Hasne

移住6年目在宅ワーカーの島暮らしエッセイまんが

